

第34回防衛問題セミナー実施概要



～のぞいてみよう！自衛隊の仕事と生活～



現役自衛官によるディスカッション



堀地南関東防衛局長



手塚南アルプス副市長

平成30年11月13日（火）山梨県南アルプス市の櫛形生涯学習センター あやめホールにおいて、「のぞいてみよう！自衛隊の仕事と生活」をテーマに、自衛隊山梨地方協力本部 新宅本部長、陸上自衛隊第1特科隊 林隊長を講師として、また、自衛隊山梨地方協力本部及び陸上自衛隊第1特科隊所属の陸海空自衛官5名をパネリストとして「第34回防衛問題セミナー」を開催しました。

主催者である堀地南関東防衛局長及び後援者である金丸南アルプス市長（代理：手塚副市長）による挨拶の後、第1部として新宅本部長より「自衛隊の仕事とは」と題して、我が国の防衛を担う自衛隊の任務や態勢、それを実現させるための自衛官の仕事内容の説明がありました。

第2部では、林隊長より「山梨県所在自衛隊の概要及び災害派遣における活動」と題して、第1特科隊の概要や毎年250件を超える災害派遣活動では緊急患者空輸が多いことや林隊長が経験した阪神淡路大震災時における活動内容等の説明がありました。

第3部では、「現役自衛官に聞いてみよう！自衛隊の仕事や生活」と題して、5人の陸海空自衛官によるディスカッションを行いました。出演した自衛官がそれぞれの仕事や志望動機の発表を行ったほか、自衛官でしか経験できないこととして、望月3等海曹より「潜水艦の救助を行う飽和潜水が女性でもできること」等の発表がありました。

来場者からの「自衛隊の生活等において民間企業と異なる点は？」という質問に対しては藤原1等空曹等から「基地内の設備が充実しており、基地内で全ての生活が整うこと」との回答がありました。

また、今回のセミナーでは、災害派遣時に使用する人命救助システム や野外炊具2号等の装備品展示を行いました。当日は野外炊具2号を使用し、実際に来場者の前で豚汁の調理を行い、完成した豚汁は来場者に提供しました。

セミナー参加者からは、「将来自衛官になりたいと思っていたので、とてもよい経験になりました」（10代女性）、「いつもテレビで自衛隊の活動を見ている。ありがとう。」（60代男性）といった感想がありました。



新宅本部長



林第1特科隊長



人命救助システム